ELECOM

USB・PS/2
ワイヤレス・イメージセンサマウス
M-KD2UP2R シリーズ
取扱説明書（Macintosh 用）

ワイヤレスマウスにおける注意事項

・本製品には電池の消耗を防ぐためスリープモード機能があります。約 1 秒操作がありませんとスリープモードに移行します。解除はスリープモード時に何らかの操作があれば通常モードに戻ります。
・本製品は 27MHz 周波数帯の微弱電波を使用しています。まれに外部からこの周波数と同じ電波を受けた場合、誤動作する場合があります。重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
・微弱電波を使用していますが、電子機器や医療機器（例えばペースメーカー）などに影響を及ぼす恐れがありますので、航空機内や病院など使用を禁止されている所ではご使用にならないでください。
・電池が消耗している場合、動作が不安定になることがありますので、その場合は新しい電池に交換してください。
・また製品の流通過程におきまして長い時間が経過している場合がありますので、動作が不安定な場合は新しい電池に交換してください。
・本製品の近くで携帯電話をご使用される場合に電波の影響を受けて動作が不安定になる場合がありますので、影響を受けない距離を保ってください。
・ケーブルを受信機本体に巻きつけた状態で使用しないでください。受信性能が低下する場合があります。

※ 本製品は "微弱電波機器" ですので郵政大臣の無線局許可は必要ありません。電波法に準拠しています。

もくじ

はじめに

このたびはワイヤレス・イメージセンサマウス M-KD2UP2R シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
Macintosh で本製品をご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく本製品を使用してください。Windows でご使用になる場合は、Macintosh 用取扱説明書をご覧ください。

パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。全部そろっているかお確かめください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

・マウスユニット ････････････････････････ 1 台
・レシーバユニット ･･････････････････････ 1 台
・PS/2 変換アダプタ(Macintosh では使用しません。)
・ドライバディスク(8cm CD-ROM)･･･････････ 1 枚
・単 3 形アルカリ乾電池････････････････････ 2 本
・取扱説明書(Macintosh 用)(本書です)･････ 1 冊
・取扱説明書(Windows 用)･････････････････ 1 冊

仕　様

分　解　能	800 カウント / インチ	
ケーブル長	1.5m	
外 形 寸 法	マウスユニット	(W)58mm ×(D)110mm ×(H)36mm
	レシーバユニット	(W)50mm ×(D)75mm ×(H)15.5mm

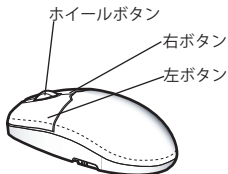
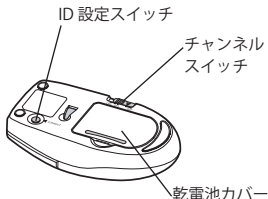
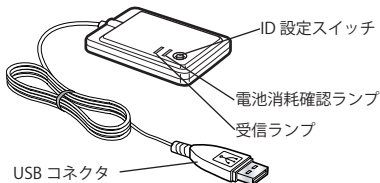
●電力性能

連続マウス作動時間	76 時間
連 続 待 機 時 間	286 日
想定使用可能時間	約 45 日(週 5 日・1 日 8 時間のパソコン操作中 25% をマウス操作に割り当てた場合)

手順の流れ

本製品をお使いになるまでの手順の流れについて説明しています。

1	**マウスユニットに電池を挿入します。（P.6）**
2	**ドライバをインストールします。（P.8）**
3	**パソコンを再起動します。**
4	**レシーバユニットをパソコンに取り付けます。（P.11）**
5	**マウスユニットとレシーバユニットのチャンネルと ID を合わせます。（P.12）**
6	**本製品を使用します。**

各部の名称と機能

電池消耗確認ランプ	電池の容量が残り少なくなったときに点灯します。この LED が点灯したときは、電池を交換してください。
受信ランプ	マウスユニットからの電波を受信すると点灯します。

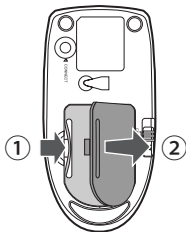
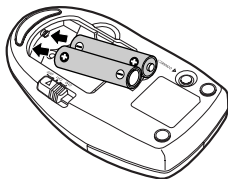
お使いになる前に

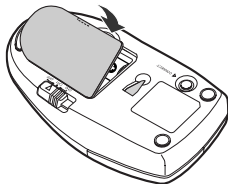
■電池を入れる前に

本製品で使用できる電池について

本製品で使用できる電池は、市販されている単 3 形アルカリ乾電池が使用できます。
新しい乾電池に交換したときの連続待機時間はおよそ 286 日です。
また、週 5 日・1 日 8 時間操作し、そのうち 25% をマウスの操作に割り当てた場合、約 45 日間動作します。

■電池を入れる

1 マウスユニット底面の電池カバーを開きます。
①の部分を少し強く右に押すと、簡単に取り外せます。

2 単 3 形アルカリ乾電池を 2 本とも電源ボックスに挿入します。

- 電池の＋と－の向きを間違えないように挿入してください。
- 乾電池は単 3 形アルカリ乾電池を使用してください。
- 長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 本製品に添付している乾電池は動作確認用です。

3 電池カバーを閉じます。

本製品のセットアップ

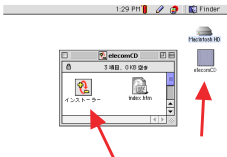
本製品の動作する環境

本製品の動作する環境は次のとおりです。

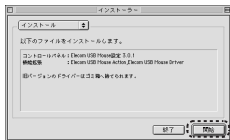
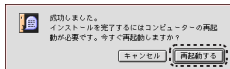
・MacOS8.51 以上 (OS X は除く)
・USB ポートのある Macintosh

ドライバのインストール

ドライバをインストールしてから、レシーバユニットを接続してください。

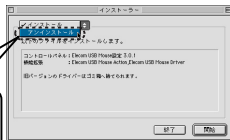
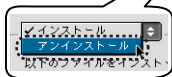
1 **ドライバ CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブに挿入します。**
デスクトップに CD-ROM の内容が表示されます。

memo ディスクの内容が表示されないときは「elecomCD」のアイコンをダブルクリックしてください。

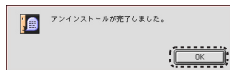
2 「インストーラー」アイコンをダブルクリックします。
インストーラーが起動します。

3 「開始」をクリックします。

4 インストールが完了すると、次の画面が表示されます。「再起動する」をクリックします。
パソコンが再起動されます。

これでドライバのインストールが完了しました。

ドライバをアンインストールする

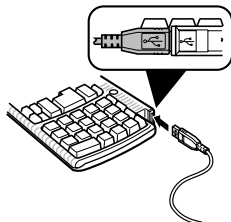
❶ 前ページのインストールの手順❶～❷を操作します。

❷ [インストーラー] 画面で ⇕ をクリックし、「アンインストール」をクリックします。

❸ 「開始」をクリックします。
アンインストールが開始されます。

❹ アンインストールが完了すると次の画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

これでアンインストールは完了です。

memo アンインストールされたファイルは、「ゴミ箱」の中に移動しただけです。完全に削除するには、「特別」→「ゴミ箱を空に ...」の順に選択してください 。

レシーバユニットを取り付ける

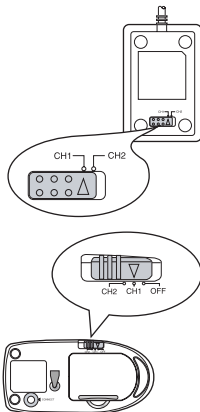
1 **パソコンの再起動後、USB コネクタの上下方向を間違えないように、レシーバユニットをパソコンの USB ポートや USB ハブのアップストリームポートに接続します。**
USB コネクタの上下方向を間違えないように、正しく接続してください。

memo
- レシーバユニットは、パソコンの電源の ON/OFF に関係なく挿抜できます。
- パソコンや USB ハブに USB ポートの空きがない場合は、あらかじめ取り外しておいてください。

マウスを使う

■チャンネルを合わせる

マウスユニットとレシーバユニットのチャンネルを合わせます。
本製品の出荷時の設定では、マウスユニットは OFF になっており、電源が OFF になっています。レシーバユニットのチャンネル設定は CH1 になっています。

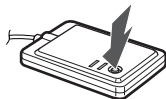
1 レシーバユニット底面にあるチャンネルスイッチを確認します。

memo 本製品の出荷時では、「CH1」に設定されています。

2 マウスユニット底面にあるチャンネルスイッチを手順 1 で確認したチャンネルにあわせます。

■ ID を設定する

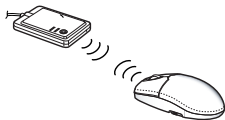
マウスユニットとレシーバユニットの ID を設定します。ID を設定することで、本製品が狭い範囲に複数ある場合でも混信を防ぎます。また、本製品をパソコンに初めて接続してドライバをインストールした後は、必ずマウスユニットとレシーバユニットの ID 設定する必要があります。
ID を設定することで、最大 1024 台まで使用できます。

ID を設定する前に必ず、マウスユニットとレシーバユニットのチャンネルを合わせておいてください。チャネルが合っていないと ID が正しく設定されません。

1. **マウスユニットが機能している状態にします。**
2. **レシーバユニットが機能している状態にします。**
3. **レシーバユニットの ID 設定スイッチを押します。**
   受信ランプ(緑色の LED)が点滅します。

4. **マウスユニット底面の ID 設定スイッチを押します。**
   受信ランプの点滅が終わると、ID が自動的に設定されます。

チャンネルを変更したときは、ID を再度設定しなおす必要があります。

■レシーバユニットを設置する

マウスユニットの発信する電波が受信できるように、レシーバユニットを設置します。
マウスユニットから 1m 以内の設置が理想的です。設置環境によっては、1m 以内に設置しても正常に動作しないことがあります。この場合は、レシーバユニットをマウスユニットに近づけてください。マウスが動作しなかったり動作が不自然な場合は、正しく電波を受信できていません。

■スリープモードについて

電池の消耗を防ぐため、マウスを 1 秒以上操作しないときはスリープモードになります。スリープモードを解除するには、ボタンをクリックするか、マウスを動かすとスリープモードが解除されます。

memo スリープモードを解除してもマウスの反応がないときは、レシーバユニットがパソコンに正しく接続されているか、マウスの電波を受信する範囲に設置しているかを確認してください。

■長時間使わないときは

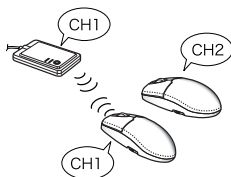
本製品を長時間使わないときは、マウスユニットのチャンネルスイッチを OFF にしてください。マウスの電源が OFF になり、電池の消耗が抑えられます。

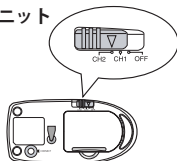
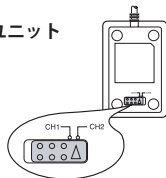
■ホイールについて

本製品の中央にあるホイールは自動車のタイヤのように前後に回転します。これを前後に回転させることにより Macintosh をより快適にご使用いただけます。このホイールは、ボタンとしても動作します。ホイールを押すことで 3 ボタンのマウスとしても機能します。

■複数台のワイヤレスマウスを使うときは

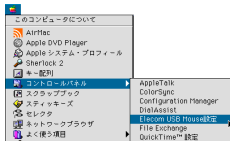
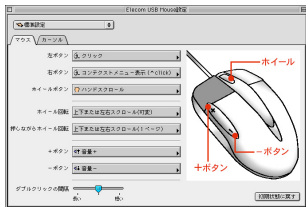
本製品は無線を使用しているため、同じ ID の本製品が狭い範囲に複数ある場合混信してしまいます。混信が起こる場合は、使用するペアのユニットの ID を設定しなおしてください。
ID を設定しなおしても、混信が発生する場合は、レシーバとマウスのペアごとのチャンネルを変更すると混信が発生しないようになります。

設定できるチャンネルは 2 つあり、本製品の出荷時には CH1 に設定されています。

■チャンネルを変更する

マウスとレシーバユニットのチャンネルを変更するには、マウスユニット、レシーバユニットそれぞれのチャンネルスイッチを合わせてください。

ELECOM USB Mouse を設定する

ホイールやボタンの割り当てやポインタの動作設定など、本製品のさまざまな機能を設定します。

ELECOM USB Mouse 設定の起動

「アップルメニュー」→「コントロールパネル」→「ELECOM USB Mouse 設定」の順に選択します。
ELECOM USB Mouse 設定が起動します。

※ マウスのイメージと項目はお使いのマウスのボタン数によって異なります。

ELECOM USB Mouse 設定の終了

「ファイル」、「閉じる」の順に選択すると、ELECOM USB Mouse 設定が終了します。

マウス動作設定

Elecom USB Mouse 設定を起動すると、「Elecom USB Mouse 設定」画面が表示されます。
「マウス」タブでは各ボタンの動作、「カーソル」タブではマウスカーソルの動き方を設定できます。
またアプリケーションごとにボタンやカーソルの動作・動き方を細かく設定できます。

- **操作しているアプリケーションによっては、[カーソル操作]が正常に動作しない場合があります。**
- **お使いのマウスによって画面右側のイメージは変わります。また、「マウス」タブに表示される設定項目も変わります。(このマニュアルでは 5 ボタン USB ホイール付きマウスの画面を使用しています)**

設定できるホイールの動作について

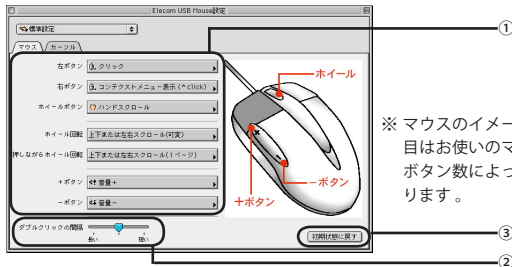
設定できるホイールの動作には、ホイールボタン(ホイールの押し込み)、ホイール回転、押しながらホイール回転の 3 種類があり、それぞれにキーボードの特殊キー(shift や control など)との組み合わせ動作を設定できます。

・ホイール回転

・押しながら ホイール回転

・ホイールボタン (ホイールの押し込み)

「マウス」タブ

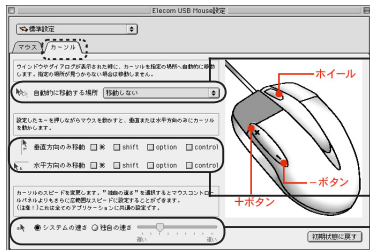
※ マウスのイメージと項目はお使いのマウスのボタン数によって異なります。

①各ボタンやホイールの動作を設定できます。初期設定では、次のように設定されています。(お使いのマウスによっては表示されない項目もあります)

左ボタン	クリック
右ボタン	コンテクストメニュー表示（^click）
ホイールボタン	ハンドスクロール
ホイール回転	上下または左右スクロール（可変）
押しながらホイール回転	上下または左右スクロール（1 ページ）

＋ボタン	音量＋
－ボタン	音量－

②ダブルクリックの間隔を 3 段階(長い、中、短い)から選択できます。初期設定は「中」です。(この設定はすべてのアプリケーションで共通です)

③クリックすると、すべての項目の設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

「カーソル」タブ

①ウィンドウやメッセージが表示されたときに、カーソルを自動的に指定場所へ移動させるかを設定できます。

②ここでチェックマークを入れたキーを押しながらマウスを動かしたときの、カーソルの動き方を設定できます。

③カーソルの動く速さを設定できます。（この設定はすべてのアプリケーションで共通です）「システムの速さ」を選択しておくと、マウスのコントロールパネルで設定した速さに設定されます。「独自の速さ」を選択するとシステムで設定するより細かく設定できます。

動作を自分で設定する

マウスの動作を自分で作った動作(ユーザー定義動作)に設定することができます。

●ボタン動作の設定

1 「右ボタン」、「左ボタン」等の設定項目をクリックします。
選択項目一覧が表示されます。

2 選択項目の最上位にある「自分で設定 ...」をクリックします。
選択したボタンの動作設定画面が表示されます。

memo 選択項目一覧の中から動作を選ぶこともできます。
選択項目一覧にはよく使われるショートカットが表示されています。

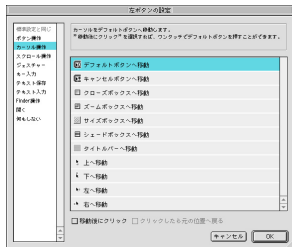
❸ **左側にある項目から設定したい操作を、右側にある項目から設定したい動作を、それぞれ選択します。**
キーボードの修飾キー（shift や control など）との同時押しも設定できます。

❹ **設定が終わったら［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。**

●ボタン動作の設定画面について

ボタン操作

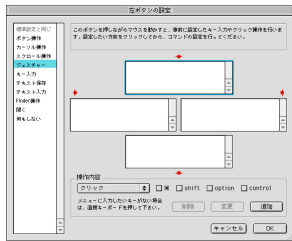
マウスボタンを押したときの動作に、クリックだけでなく「ダブルクリック」や「トリプルクリック」を割り当てることができます。

カーソル操作

マウスボタンを押すと、ここで設定したボタンの上へカーソルが移動します。
[移動後にクリック]にチェックマークをつけておくと、一度のクリックで「設定したボタンまでカーソルが移動」し、「そのボタンをクリック」することができます。

- **マウスボタンを押してすぐカーソルを動かすと、移動がキャンセルされる場合があります。**
- **操作しているアプリケーションによっては、正常に動作しない場合があります。**

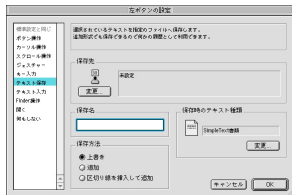
スクロール操作

マウスボタンを押すと、設定した方向へ画面がスクロールします。[可変スクロール]でスクロールしている時、なかなかスクロールが止まらない場合はマウスボタンを押してください。何回か押すうちにスクロールは止まります。

ジェスチャー

ジェスチャーボタンを押しながら、設定した方向にマウスを動かすと、あらかじめ設定しておいた動作や文字が入力されます。

キー入力

マウスボタンを押すと任意の文字を入力できます。キーボードの修飾キーとの同時押しを設定しておくと、アプリケーション特有のショートカットも入力できます。
修飾キーだけを入力することはできません。

テキスト保存

マウスボタンを押すと、編集中のデータを保存できます。

- 操作しているアプリケーションの「コピー」メニューに、ショートカット【⌘+ C】が割り当てられている必要があります。
- 独自のクリップボード（コピー・貼り付けに使われる一時的なメモリ）を用いているなどのアプリケーションの場合は、［テキスト保存］を使用できません。

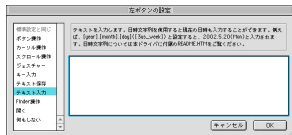
保存時のテキスト種類

保存してできたテキストファイルをダブルクリックした時に、どのアプリケーションで開くかを決めます。

保存方法

テキストをファイルへ保存する時、保存先にすでに同名のファイルが存在している場合にどのように保存するか決めます。

上書き	既存のファイルのデータを消してから保存します。
追加	既存のファイルのデータの後ろに追加して保存します。
区切り線を挿入して追加	既存のファイルのデータの後ろに、現在の日時と元テキストを編集していたアプリケーション名の入った区切り線を挿入した後、追加して保存します。

テキスト入力

マウスボタンを押すと、あらかじめ設定しておいたテキストを入力できます。またシステム日付を入力することもできます。システム日付を入力するには、コマンドをテキストに含めます。コマンドについてはオンラインヘルプを参照してください。

- **操作しているアプリケーションの「貼り付け」メニューにショートカット【⌘+ V】が割り当てられている必要があります。入力されない場合は、いったん他のアプリケーションへ切り替えてください。**
- **クリップボードに画像データがあると（例えば画像をコピーした直後など）、入力されない場合があります。**
- **この機能を実行すると直前のクリップボードの内容は失われます。**
- **設定できる文字数は半角で 30,000 文字までです。**

Finder 操作

マウスボタンに Macintosh の Finder メニューのどれかを割り当てます。

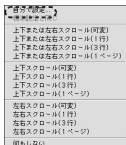
- [現在のアプリケーションを隠す]は、操作しているアプリケーションによっては機能しない場合があります。
- [現在のアプリケーションを隠す]でアプリケーションを隠した後、他のアプリケーションへ切り替えできなくなった場合は、return キーか esc キーを押してください。それでも切り替えられない場合は、⌘ + option + esc キーを押してアプリケーションを強制終了させてください。

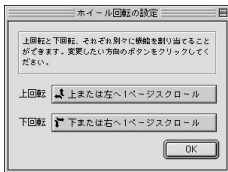
開く

マウスボタンを押すと、あらかじめ登録しているアプリケーションを起動します。
アプリケーションの登録はドラッグ&ドロップで、またドラッグして登録順を変更できます。
追加ボタンを押して表示される画面で[ごみ箱を選択]をクリックすると、ゴミ箱を登録することができます。

●ホイール動作の設定

1. 「ホイール回転」または「押しながらホイール回転」をクリックします。
   選択項目一覧が表示されます。

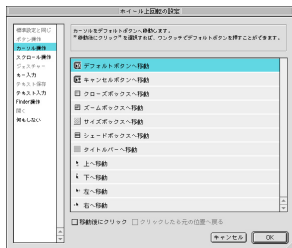
2. 選択項目の最上位にある「自分で設定 ...」をクリックします。

   ホイール回転方向の選択画面が表示されます。

3. 設定したいホイール回転方向をクリックします。

   選択した回転方向の設定画面が表示されます。

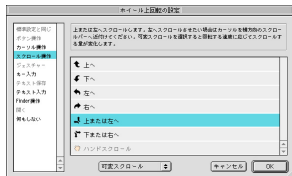
4 **左側にある項目から設定したい操作を、右側にある項目から設定したい動作を、それぞれ選択します。**
キーボードの特定のキーとの同時押しも設定できます。

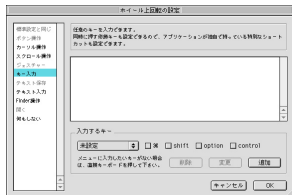
5 **設定が終わったら［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。**

●ホイール動作の設定画面について

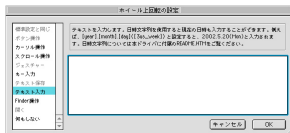
カーソル操作

ホイールを回転させると、ここで設定したボタンの上へカーソルが移動します。
[移動後にクリック]にチェックマークをつけておくと、ホイール回転だけで「設定したボタンまでカーソルが移動」し、「そのボタンをクリック」することもできます。

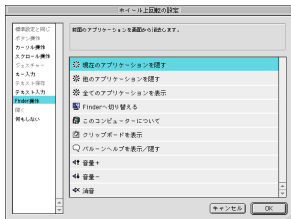
- ホイールを回してすぐカーソルを動かすと、移動がキャンセルされる場合があります。
- 操作しているアプリケーションによっては、正常に動作しない場合があります。

スクロール操作

ホイールを回転させると、設定した方向へ画面がスクロールします。
[可変スクロール]でスクロールしている時、なかなかスクロールが止まらない場合はマウスボタンを押してください。何回か押すうちにスクロールは止まります。

キー入力

ホイールを回転させると任意の文字を入力できます。
キーボードの修飾キーとの同時押しを設定しておくと、アプリケーション特有のショートカットも入力できます。

修飾キーだけを入力することはできません。

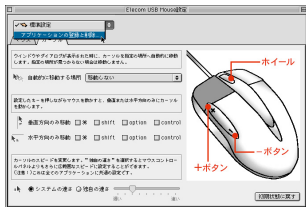
テキスト入力

ホイールを回転させると、あらかじめ登録しておいたテキストを入力できます。またシステム日付を入力することもできます。システム日付を入力するには、コマンドをテキストに含めます。コマンドについてはオンラインヘルプを参照してください。

- 操作しているアプリケーションの「貼り付け」メニューにショートカット【⌘+ V】が割り当てられている必要があります。入力されない場合は、いったん他のアプリケーションへ切り替えてください。
- クリップボードに画像データがあると（例えば画像をコピーした直後など）、入力されない場合があります。
- この機能を実行すると直前のクリップボードの内容は失われます。
- 設定できる文字数は半角で 30,000 文字までです。

Finder 操作

ホイール回転に Macintosh の Finder メニューのどれかを割り当てます。

- ［現在のアプリケーションを隠す］は、操作しているアプリケーションによっては機能しない場合があります。
- ［現在のアプリケーションを隠す］でアプリケーションを隠した後、他のアプリケーションへ切り替えできなくなった場合は、return キーか esc キーを押してください。それでも切り替えられない場合は、⌘ + option + esc キーを押してアプリケーションを強制終了させてください。

■アプリケーションの追加と削除

Elecom USB Mouse 設定では、さまざまなアプリケーションにマウスクリックやホイールの動作を個別に割り当てることができます。

※ マウスのイメージと項目はお使いのマウスのボタン数によって異なります。

- ドラッグ＆ドロップで登録できます。
- メインウインドウのポップアップメニューは、ここでの登録順にアプリケーションを表示します。登録順はドラッグで変更できます。

トラブルシューティング

マウスユニットを動かしても、マウスカーソルが反応しない

- レシーバユニットとマウスユニットの距離が 1m 以上離れている可能性があります。設置場所を確認してください。また 1m 以内に設置している場合でも、マウスユニットとレシーバユニットの間に、ディスプレイなど電波に干渉する機器があると正しく電波が交信できないことがあります。設置場所を移動するか、レシーバユニットとマウスユニットの距離を近付けてください。
- レシーバユニットとマウスユニットの ID が異なっている可能性があります。
  「ID を設定する」(13 ページ)を参照して、レシーバユニットとマウスユニットを同じ ID に設定します。
- レシーバユニットとマウスユニットのチャンネルが異なって設定されている可能性があります。
  「チャンネルを変更する」(16 ページ) を参照して、レシーバユニットとマウスユニットを同じチャンネルに設定します。本製品の出荷時はチャンネル 1 に設定されています。
- 金属製の机など、金属に近づけた状態でマウスを操作すると、マウスカーソルが反応しないことがあります。この場合は厚手のマウスパッドを使用するなど、なるべく金属から離して使用してください。
- マウスユニットのチャンネルスイッチが OFF に設定されている可能性があります。使用するチャンネルに合わせてください。
- マウスユニットの電源容量が少なくなっています。新しい乾電池を挿入してください。

ユーザサポートと製品の保証

本製品の保証書は、内容をお確かめの上大切に保管してください。何らかのトラブルが起きたときや、操作方法や使いかたがわからなくなったときには、ELECOM 総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

商品に関する お問い合わせは	●エレコム総合インフォメーションセンター TEL.03-5337-3024	受付時間 9:00～12:00 13:00～18:00	年中無休

ワイヤレス・イメージセンサマウス
M-KD2UP2R シリーズ
取扱説明書（Macintosh 用）
2002 年 10 月 15 日　初版
M-KD2-1

- 本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。